

第281号

令和7年11月1日発行
防府市大字富海1203番地の1
富海公民館
電話 34-0001
34-0034

公民館だより

富海(11月)

富海地域の概況

人口	1,692人(-9)
男	782人(-5)
女	910人(-4)
世帯数	930世帯(-6)

令和7年9月末現在

楽しかった! 「生き生き倶楽部」「女性学級」

合同館外学習 無事終わる!

宇部市方面「(株)北九州ニッスイ宇部工場」ときわ公園内「石炭記念館」を見学! 昼食は「かめうら苑」で摂る!

10月10日(金)に社会見学改め館外学習を今年度は「生き生き倶楽部」「女性学級」合同で実施しました。今年は、宇部市方面に向かい、まずは「(株)北九州ニッスイ宇部工場」の見学、そして、「かめうら苑」で昼食を摂りました。次にときわ公園内の「石炭記念館」に行き、宇部市における石炭の歴史について学びました。

晴天で天気に恵まれ、まさに「天高く馬肥える秋」というところでした。参加者の皆さんが体調不良になったり、トラブルに巻き込まれたりすることなく全員が元気に帰防できたことが何よりでした。参加された皆さんお疲れ様でした。



(株)北九州ニッスイ宇部工場見学



琴崎八幡宮参拝



「かめうら苑」で昼食!

<石炭記念館についての豆知識>

宇部市はかつて石炭によって栄え、最盛期の1940(昭和15)年には、年間約430万トンの石炭が掘り出されていましたが、昭和30年代に起こったエネルギー革命により1967(昭和42)年を最後に市内の炭鉱はすべて閉山しました。やがてその石炭のもたらした多大な恩恵に感謝し、幾多の貴重な文献や機材を整備して石炭産業を永く後世に伝えようと、県、市および石炭関係者をはじめ、多くの市民の寄付金によって、閉山から2年後の1969(昭和44)年11月1日、宇部炭田発祥の地である常盤湖畔に、全国に先がけて石炭記念館は開館しました。

3,000点を超える収蔵品は2007年度(平成19年度)に経済産業省の近代化産業遺産に選ばれています。また、地上37メートル、海拔65メートルの展望台からは常盤湖やときわ公園はもちろん、市街地や瀬戸内海を望むことができます。(※ときわ公園ホームページ参照)